



2026年8月7日

各 位

会 社 名	日東精工株式会社	
代表者名	代表取締役社長	荒賀 誠
(コード:	5957 東証プライム市場)	
問合せ先	取締役 経営管理本部 本部長	松本 真一
(TEL.	0773-42-3111)	

京都府綾部市・立命館大学との3者による包括連携協定の締結に関するお知らせ

当社は、京都府綾部市（市長：四方源太郎、以下「綾部市」という。）および学校法人立命館（所在地：京都市中京区、学長：仲谷善雄、以下「立命館大学」という。）と、地域産業の振興、研究・技術開発、人財育成など多領域にわたる共創を目的とした包括連携協定を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 趣旨

当社、綾部市および立命館大学は、それぞれが有する人的・物的・知的資源を活用し、産業振興、研究開発、人財育成および地域課題の解決に向けて相互に連携・協力することで、地域社会の持続的な発展と新たな価値創造の実現を目指し、本協定を締結いたしました。

2. 背景（経緯）

当社と立命館大学は、PFAS（有機フッ素化合物）分解技術に関する研究開発を共同で進めております。このたび、当該研究開発を契機として、その成果のさらなる発展および社会実装を見据え、綾部市を加えた産学公連携へと発展させることといたしました。

また、綾部市における地域課題の解決や地域産業の振興、次世代人財の育成などの取組みに対し、当社の技術・事業活動と立命館大学の教育・研究資源を活用することで、地域社会の発展および持続可能な地域づくりに貢献できるものと考え、本協定の締結に至りました。

3. 協定内容

1. 地域産業の振興、創出及び支援に関すること
2. 産学公の連携に関すること
3. 地域課題の解決及び持続可能な地域社会の形成に関すること
4. 研究、技術開発及び研究成果の社会実装に関すること
5. 環境保全に関すること
6. 人材の育成、交流に関すること
7. 文化、教育の振興に関すること
8. まちづくりの推進に関すること

4. 協定締結日

2026年8月4日（火）

5. 3者の概要

◆京都府綾部市

市	長	四方源太郎
面	積	347.10平方キロメートル
人	口	29,380人（2026年7月1日現在・推計人口）
世帯数		13,803世帯
その他の		綾部市は、京都府の中央北寄りに位置する田園都市。美しい自然環境や豊かな里山・田園と農村の暮らし、平和と歴史・文化に彩られた市街地、ものづくりを中心とする多様な産業の集積、そして京阪神地域と日本海地域をつなぐ交通の要衝地であることなど、地方小都市ながらさまざまな機能や特性がバランスよく備わっています。 また、強い郷土愛や高い文化度、温厚で粘り強い市民性、加えて「郡是」の創業や「大本」の開教、日本初の世界連邦都市宣言等に見られる進取の気質、営々と受け継がれてきた地域の伝統行事など、多くの有形無形の歴史的・文化的資産を有しています。

◆学校法人立命館（立命館大学）

代 表 者	理事長 森島 朋三 学長 仲谷 善雄
キ ャ ン パ ス	朱雀、衣笠、びわこ・くさつ、大阪いばらき
生 徒 数	学部学生数 34,890名、大学院生数 4,494名（2026年5月1日現在）
学 部	17学部・22研究科
そ の 他	西園寺公望が1869 年に開設した私塾「立命館」を創始とし、その精神を継いだ中川小十郎が1900 年に設立した京都法政学校が前身で、2026年に創立126 周年を迎えます。 2030年にむけて『学園ビジョンR2030 立命館大学チャレンジ・デザイン』を掲げ、「次世代研究大学」の実現と「イノベーション・創発性人材」の育成を目指し、社会課題解決と新たな価値創出に取り組んでいます。

◆日東精工株式会社

所 在 地	京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
代 表 者	代表取締役会長 兼 CEO 材木 正己 代表取締役社長 兼 COO 荒賀 誠
主 要 事 業	工業用ファスナー（ねじ）、自動組立機械、計測制御・検査機器、医療機器の製造・販売
資 本 金	3,522百万円
設 立 年 月	1938年2月
従 業 員 数	連結2,231名 単体519名（2026年6月30日現在）
グループ会社数	30社（国内14社、海外16社）
売上高（連結）	50,238百万円（2025年12月期）

6. 今後の見通し

本協定締結による当社の2026年12月期連結業績への影響は軽微であります。

以 上